

「築造企画から巨大前方後円墳を考える ～百舌鳥・古市古墳群と吉備～」

巨大な前方後円墳を築くには、一定の設計企画が存在したのでは…と考えられています。この設計企画とは、いったいどのようなものだったのでしょうか。古市古墳群と同じような巨大古墳を築いていた吉備（現在の岡山県を中心とした地域）の様子と比較して、古墳の設計やその企画を通して巨大前方後円墳築造の謎を考えてみたいと思います。

【日時】12月14日(土) 14:00～15:30 【場所】陵南の森公民館

【参加費】500円（資料代）【定員】150人（事前申込み要・先着順）

【申込み】メール、またははがきにて。

住所・氏名（よみがな）・電話番号を明記の上、下記までお申し込みください。

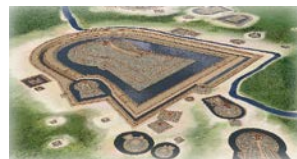
1回の申込み（メール・はがき）で5人までOK（全員の氏名（よみがな）、代表者の住所、電話番号を明記してください）

〒583-8585 羽曳野市誉田4丁目1-1 羽曳野市教育委員会 文化財・世界遺産室

メール bunka-sekai@city.habikino.lg.jp

【主催】

羽曳野市世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」保存・活用実行委員会（NPO 法人フィールドミュージアムトーク史遊会、羽曳野まち歩きガイドの会、四十四の会、羽曳野市教育委員会）



澤田 秀実
（くらしき作陽大学音楽学部教授）

第7次羽曳野市総合基本計画

市民ワーキング会議の参加者募集

令和8年度からのまちづくりの指針となる「第7次羽曳野市総合基本計画」を策定するにあたって、市民ワーキング会議を開催します。そこで、羽曳野市のまちの魅力や課題、めざす未来像などについて話し合ってください参加者の皆さんを募集します！

【応募資格】市内に在住・在学・在勤の方で、以下の会議全てに参加いただける18歳以上の方

【開催日時】・第1回 令和7年1月25日(土) 14:00～16:00
・第2回 令和7年2月15日(土) 14:00～16:00

【場所】羽曳野市役所会議室

【内容】羽曳野市の現状や未来像などについて、意見交換をしていただきます。

【募集人数】約20名

【謝礼】3,000円/回（交通費込み）

【応募方法】

①オンライン申込 /WEB フォームから入力ください→
②メール・郵送申込（氏名、年齢、住所（市外在住で、市内に在勤又は在学の方はその勤務先など）、連絡先、応募動機を記入ください（応募用紙等の様式は問いません））

※申込み頂いた方の個人情報、本事業に関することのみに利用し、他の用途には利用しません。

※電話等、上記以外の申し込みは受け付けておりません。

【締切】令和6年11月22日(金) 必着

【選考等】応募者多数の場合は市において選考します。選考結果は郵送にて通知します。

【申込・問合せ】市長公室政策企画室政策推進課

〒583-8585 羽曳野市誉田4-1-1

メール kikaku@city.habikino.lg.jp ☎ 072-947-3801（直通）

備えよう!!

Vol.26

～明日くるかもしれない災害に～

【家庭での備蓄編】

阪神・淡路大震災や新潟県中越地震などでは、多くの方が倒れてきた家具の下敷きになって亡くなったり、大けがをしました。大地震が発生したときには「家具は必ず倒れるもの」と考えて、ご自宅の家具等の安全対策をしておきましょう。一例を載せていますので参考にしてください。

また、今年は全国各地で台風や集中豪雨による甚大な被害が発生しました。11月に入り風水害などの被害は減少傾向になりますが引き続き家庭での備えをよろしくお願いいたします。

（例）

- ・家具が転倒しないよう、家具は壁に固定する。
- ・寝室や子ども部屋には、できるだけ大きな家具を置かない。（置く場合も、なるべく背の低い家具にするとともに、倒れた時に出入り口をふさいだりしないよう、家具の向きや配置を工夫する。）
- ・手の届くところに、懐中電灯やスリッパ、ホイッスルを備えておく。

★地域の皆様による防災活動に対し補助する『羽曳野市自主防災組織活動補助金』制度を行っております。地域における防災活動の充実やこれからの地域防災を考えるきっかけづくりにお役立てください。

※補助金制度の詳細は市ウェブサイトに掲載しています。

問合せ：危機管理課（内線 2720）

万博連載コラム 第5回 万博の魅力③「未来社会の実験場」

大阪・関西万博の魅力の3回目は、「未来社会の実験場」です。

○万博は常に未来社会の実験場

万博はいつの時代も人々が未来技術に触れ体験する場でした。古くは19世紀の電話やエレベーターに始まり、1970年大阪万博の月の石やワイヤレスホン、2005年愛知万博ではロボットが人気を博しました。今回は一体何が見られるのか？ 大阪・関西万博ではSociety 5.0の未来社会として、未来の都市のパビリオンや、空飛ぶクルマや水素船等のスマートモビリティ、カーボンリサイクル工場等をご覧頂きます。

○ICT デジタル技術で安全快適な万博を実現

2005年の愛知万博の時代との大きな違いがICT デジタル技術の急速な進歩です。「いつでも、どこでも、だれでも」万博にアクセスできるバーチャル万博、万博史上初のデジタルチケットによる来場予約制や全面キャッシュレスの導入、「私らしい」来場体験をサポートするパーソナルエージェントや、30言語に対応した自動翻訳システム等の未来技術により、安全快適な未来社会を実感頂きます。